

会 議 議 顛 末 書

供 覧				記録者	課長補佐 染谷 誠		
	教 育 長	教育部長	教育次長	教育総務課長	指導課長	課長補佐	係長
件 名		令和6年度 第2回龍ヶ崎市教育支援委員会					
日 時		令和6年11月14日（木） 13時30分～17時30分					
場 所		龍ヶ崎市役所 附属棟1階 第1会議室					
出席者		委員（16名） 石川貴久、宮崎友美子、松谷真一、唯根りか、糸川宏、稲葉恭子、沼田一樹、足立美子、中島美香、石渡幸子、唯根敦美、山村尚、船澤修一、高倉貴子、友部穂乃歌、黒田美智子 教育支援委員会事務局（3名） 大古教育長、千葉指導課長、染谷指導課長補佐					
欠 席 者		野上哲夫、藺部崇、加固友衛					
傍 聴 者		なし					
内 容		令和6年度第2回龍ヶ崎市教育支援委員会を開催した。 詳細については、以下のとおり。 ＜次 第＞ 1 開会 2 教育長挨拶 3 自己紹介 4 役員選出 5 委員長挨拶 6 審議 （1）事務局からの説明 （2）協議・審議 令和7年度教育措置変更児童生徒について 7 諸連絡 8 閉会					

情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例第5条第5号該当） 協議・審議 意思決定過程
	部分公開		
	非公開	公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	令和7年3月24日

会 議 録（文中敬称略）

事務局	では開会に先立ちまして事務局よりご案内をさせていただきます。 まず今回の支援委員会から、石川貴久委員にご参加いただくことになりました。石川委員、どうぞよろしくお願いいたします。
石川委員	この度から委員になりました石川クリニックの石川と申します。よろしくお願いいたします。 当地に戻りましてもう40年、学校医をやらしていただけていますが、やっぱり近年、配慮を要するお子さんが多いのは、最近急に増えたなっていう感じがしております。現在河内の方でも、教育支援委員をやらせていただいておりますので、少しずつ勉強させていただいて、皆様の足手まといにならないようにしたいと思いますよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。また、城西中学校中島先生も今回からのご参加となります。中島先生どうぞよろしくお願いいたします。 第1回からご参加いただいている委員の皆様にも、資料の中に改めて任期に応じた、委嘱状または任命書が入っております。氏名等のご確認をお願いいたします。 では資料の確認をお願いいたします。第2回龍ヶ崎市教育支援委員会、要綱、教育支援委員会委員名簿、教育支援調査員報告資料。資料については個人情報のため会議終了後に回収をさせていただきます。 また各学校の調査員の先生方には部屋の後方で待機していただきます。 なお、報告いただいた児童生徒一人一人に対して、できるだけご意見やご助言をいただきたいと思いますが、委員長から指名された際、報告に同意する旨、伝えていただく形でも差し支えありません。よろしくお願いいたします。 最後に、本日審議達成のため、休憩時間を設けておりませんが、大変申し訳ございませんが、水分補給やトイレ等については各自適宜お願いいたします。 また、当初の予定よりも審議時間の方が長引きまして、会の方が延長になるようで、そのあとにご予定のある先生方につきましては、4時半の時点で確認を取らせていただきますので、その際にはお帰りいただくというような形でお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 では、改めまして委員の皆様にはご多用の中ご参加いただきありがとうございます。進行は私染谷が行わせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は19名の委員のうち、参加者16名、欠席者3名でございます。 龍ヶ崎市教育支援委員会条例第6条により、委員の過半数が出席しておりますので、本会議の成立をご報告いたします。それでは、ただいまより、令和6年度第2回教育支援委員会を開催いたします。 教育長挨拶、龍ヶ崎市教育委員会、大古輝夫教育長がご挨拶申し上げます。

教育長	教育長大古でございます。 令和6年度第2回の教育支援委員会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきたいと思います。 各委員の先生方には本当に日頃お忙しい中、いろいろご勤務されている中、または本日、医療に従事されておられる皆様、関係諸団体の皆様方のご出席をいただき、この支援委員会が開催できますこと、心から御礼申し上げます。 今、石川先生からもあったんですけれども、特別な支援を必要とする子が近年、非常に多くなっているということは皆さんも感じているかなと思います。 実はここに出席されている中根台中学校の校長先生いらっしゃいますけれども、中根台中学校が創立30周年を迎えるにあたって、30年前の状況をちょっと見てみたんですね。すると、当時、小学校で特別支援学級に在籍していた児童は、市内の13校で、計23名。現在は235名。つまり、10倍になっているということなんですね。 中学校も同様でした。ですので、おそらく医療の発達に伴っていろいろ明らかになった部分もあってということはあるかと思うんですけれども、学校の中でも大変多くの子供たちが、お世話になっているということ。それから、来年度もしかすると龍ヶ崎中学校は、通常の学級が9学級で、ともすると支援学級が8学級ぐらいになってしまうような状況も見られております。そういう意味で、我々の人的な配置の中でも、支援学級を担当する先生方の確保が、喫緊の課題として挙がっております。 本日は、令和7年度の中学校進学者から令和7年度の特別支援学校転入児童生徒、それから教育措置変更の希望児童生徒につきまして、特別な支援を必要とする84名の児童生徒のご審議をいただきたいと存じます。 また年内には、第3回も控えているわけなんですけど、おそらくその第3回は私自身が、議会の一般質問日と重なってしまって、出席することがちょっとかなわないかなと思いますので、この場をお借りしてお詫び申し上げたいと思います。 短い時間の中で、たくさんのご協議をいただくわけですが、事務局の方にも、大事なところはしっかりと協議しながら、そして、円滑な進行なりを申しつけてありますので、どうぞ委員の先生方のご協力も、よろしくお願いしたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	委員長挨拶。 それでは、山村尚委員長よりご挨拶をお願いいたします。
委員長	委員長の山村です。着座にて失礼いたします。本日の会議では、特別な支援を必要とする児童生徒の、一貫した教育支援を充実させるために、しっかりとした審議ができますよう、委員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。この後の審議につきましては、委員長が進行となりますので、山村委員長、よろしくお願いいたします。
委員長	はい。それでは審議に移ります。 以降意思決定過程のため非公開